

2018年8月1日更新

Power Systemsの資格が変更されました。

【変更前】

すべてIBMプロフェッショナル認定資格の取得でした

P2	Sales	03005909	C9010-250 または 03005910	C9010-260
P2	Technical	03006701	C9010-251	
P3	Sales	03005909	C9010-250 または 03005910	C9010-260
P3	Technical	03006801	C9010-251 / C9010-252 または	03006802 C9010-251/ C9010-262

※変更前の資格は2019年1月31日まで有効です

【変更後】

テクニカルのみIBMプロフェッショナル認定資格取得で、セールスはIBMバッジ取得に変更

セールス/テクニカル以外にストラテジックという項目が追加

P2 資格が不要となりました。(2017年に暫定的に不要でしたが、今回正式に不要となりました)

P3 Sales 03005909 C9010-250 または 03005910 C9010-260 または

P3 Sales IBM POWER9 ビジネス・パートナー Sales Foundations V1 (バッジオンライン自主学習 2種類が必須)

1) POWER9 Family Level 1

2) 次の中から1つ

POWER9 Level 2 AC922

POWER9 Level 2 Scale-Out

POWER9 Level 2 Scale-Up (4Q18)

P3

Technical 03006801 C9010-251 / C9010-252 または 03006802 C9010-251/ C9010-262 または

Technical C0001603 C1000-031 IBM Power Systems Scale-Up Technical Sale

2018年8月1日更新

P3 Strategic バッジオンライン自主学習 3オプションの中から1つ必須

- 1) Option A: IBM POWER9 ビジネス・パートナー Cloud Sales Foundations V1 (バッジオンライン自主学習 2種類選択)
 - Hyperconverged Nutanix Level 1
 - Hyperconverged Nutanix Level 2
 - IBM Cloud Private Level 1
 - Cloud Private Technical 1 Badge
 - Docker Foundation Technology 1 Badge
- 2) Option B: IBM POWER9 ビジネス・パートナー Analytics Sales Foundations V1 (バッジオンライン自主学習 2種類選択)
 - SAP HANA Power Sales Badge
 - SAP HANA Power Technical Badge
 - SAP HANA Technical Advocate Badge
- 3) Option C: IBM POWER9 ビジネス・パートナー Cognitive Foundations V1 (バッジオンライン自主学習 2種類選択)
 - Power AI Level 1
 - IBM Data Science Experience Level 1

2017年10月1日更新

IBMストレージのS3の資格が変更されました。

【変更前】

S3 Sales	23001112	-	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Sales V3 または
	23001113	C9020-970	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Sales V4
S3 Technical	23003303	-	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Technical Support V3 または
	23003304	C9020-971	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Technical Support V4

【変更後】

S3 Sales	23001112	-	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Sales V3 (2018/4/30まで)または
	23001113	C9020-970	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Sales V4 (2018/4/30まで)または
	23001114	C9020-567	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Sales V5 または
	32002401	C9020-660	IBM Certified Specialist - Traditional Workloads Sales V1 または
	32002501	C9020-667	IBM Certified Specialist - New Workloads Sales V1
S3 Technical	23003303	-	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Technical Support V3 (2018/4/30まで) または
	23003304	C9020-971	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Technical Support V4 (2018/4/30まで)または
	23003305	C9020-568	IBM Certified Specialist - Enterprise Storage Technical Support V5 または
	23003306	C9020-668	IBM Certified Specialist - Storage Technical V1

2017年6月1日更新

2017年6月1日よりPower SystemsのP2(ミッドレンジ)のスキル要件がP1(ローエンド1, Linux)と同様に「認定取得不要」となります。ただし、将来的にPOWER9が発表され、それに伴ってスキル要件が変更になるまでの限定となります。P3(ハイエンド)につきましては、今まで通り「認定取得必須」です。

上記は、新規でPower Systemsの P2カテゴリでBP契約を締結、あるいは製品追加する場合と、認定資格を失効しPower Systemsの販売契約が一度解約され、再度製品追加をする場合にも有効です。

z Systemsのz2/z3の資格が追加されました。

【変更前】

z2 Sales 21002007	C9030-633
z2 Technical 21002106	C9030-634
z3 Sales 21002007	C9030-633
z3 Technical 21002106	C9030-634

【変更後】

z2 Sales 21002007	C9030-633	または	21002008	C9030-643
z2 Technical 21002106	C9030-634	または	21002107	C9030-644
z3 Sales 21002007	C9030-633	または	21002008	C9030-643
z3 Technical 21002106	C9030-634	または	21002107	C9030-644

2017年1月16日更新

2017年1月16日よりz1 LinuxONEのスキル要件の1つである「Linuxディストリビューション認定資格」にLPICとLinux Foundation certificationが追加されました。

【変更前】

Red HatかSUSEを少なくとも1つ含んだLinuxディストリビューション認定資格の証明

【変更後】

Red Hat、SUSE、LPIC (Linux Professional Institute Certification)または Linux Foundation certificationを少なくとも1つ含んだLinuxディストリビューション認定資格の証明

2016年12月7日更新

2016年10月1日よりPower SystemsのP2/P3の資格が追加されました。

【変更前】

P2 Sales 03005909 C9010-250

P2 Technical 03006701 C9010-251

P3 Sales 03005909 C9010-250

P3 Technical 03006801 C9010-251 / C9010-252

【変更後】

P2 Sales 03005909 C9010-250 または 03005910 C9010-260

P2 Technical 03006701 C9010-251

P3 Sales 03005909 C9010-250 または 03005910 C9010-260

P3 Technical 03006801 C9010-251 / C9010-252 または 03006802 C9010-251/ C9010-262

2016年9月1日更新

2016年9月1日よりz Systemsの契約カテゴリーが変更

【変更前】

z SystemsとLinuxONEが別カテゴリー

【変更後】

z Systems (Z1: LinuxONE, / Z2: ミッドレンジ / Z3: ハイエンド)

2016年3月30日更新

2015年12月19日以降試験番号の変更を反映しました。

Power Systems 変更前 C4040-250 / C4040-251 / C4040-252 変更後 C9010-250 / C9010-251 / C9010-252

Storage Systems 変更前 C4090-970 / C4090-971 変更後 C9020-970 / C9020-971

2015年12月10日更新

IBM z Systemsの次のスキル要件になる試験の日本語試験が受験可能になりました。

試験番号 C9030-633 pwCert# 21002007「IBM Certified Specialist - z Systems Sales V7」

試験番号 C9030-634 pwCert# 21002106「IBM Certified Specialist - z Systems Technical Support V6」

2015年10月30日更新

2015年10月30日付でIBMビジネス・パートナー向けにLinuxONEの取扱開始と製品カテゴリーの新設を発表しました。

2015年10月1日更新

2015年9月30日にPOWER8の資格が未取得で、P2/P3該当の製品の例外的に販売を認める処理は終了しました。P2/P3対象製品の販売が必要な場合、必要な認定資格を取得し、契約に製品追加をする通常プロセスになります。

2015年8月1日更新

2015年7月31日まで「要件」のところに書かれているPOWER7スキル要件を満たして、POWER8の資格が未取得の場合、2015年9月30日までP2/P3該当の製品であっても、例外的に販売を認める処理をする。

2015年7月17日更新

契約カテゴリーの対象製品リストのSWについて、P2/P3のカテゴリーのHWと一緒に販売される製品は、P1からP2に変更されました。

2015年4月26日更新

IBM Power SystemsのP2/P3向けスキル要件の次の試験の日本語試験が受験可能になりました。

試験番号 C4040-250 pwCert# 03005909 「IBM Certified Sales Specialist - Power Systems with POWER8 V1」

試験番号 C4040-252 pwCert# 03006801 「IBM Certified Technical Sales Specialist - Power Systems with POWER8 Enterprise V1」

2015年1月6日更新

IBMシステム製品の製品ごとのスキル要件、「要件」ページを更新しました。
2015年1月1日よりPower SystemsとSystem Storageの契約カテゴリーが変更になります。
それに伴いスキル要件も更新されます。

【変更前】

Power System (i / AIX / PowerLinux)
Pure Flex System (i / AIX / PowerLinux)
System Storage
System z

【変更後】

Power Systems (P1: ローエンド, Linux / P2: ミッドレンジ / P3: ハイエンド)
System Storage (S1: ローエンド / S2: ミッドレンジ / S3: ハイエンド)
z Systems

※Pure Flex SystemはPower Systemsに統合されました。

スキル要件として対象となる試験/資格(pwCertコード)を掲載しています。例えば、セールスに複数の資格がある場合は、そのいずれかの資格取得で要件達成となります。資格によっては複数試験の合格が必要になります。(合格者の受験者IDをPPSに登録する必要あり)

現時点で日本語受験可能な試験につきましては、ピアソンVUE社サイト「試験一覧」項目にてご確認ください。

2014年12月18日更新

IBM System Storageのテクニカル向けスキル要件、以下試験の日本語版が追加されました。
試験番号 C4090-958 pwCert# 23003303「Enterprise Storage Technical Support V3」

2014年10月21日更新

IBM Power Systems テクニカル向けスキル要件として、以下試験の日本語版と英語版が追加されました。
試験番号 C4040-251 pwCert# 03006701「Power Systems with POWER8 Scale-out Technical Sales Skills V1」

2014年4月4日更新

IBM PowerLinuxを取り扱い表記から削除

2013年11月26日更新

IBM System xを取り扱い表記から削除

2013年10月22日更新

IBM System Storageのセールス向けスキル要件として「試験番号450 pwCert# 23003701 資格名 IBM Certified Specialist - Midrange Storage Sales V1」が追加されました。

2013年6月14日更新

取り扱い製品の記載を追加いたしました。

2012年4月4日更新

System zの新試験603/604は、いずれも日本語での受験が既に可能です。

2010年5月21日更新

System xのセールス向けスキル要件として、000-153を追加しました。日本語版は追ってリリースされます。

2010年3月17日更新

System i/System pのスキル要件を削除、Power Systemsのスキル要件を明記しました。
その他、英語版試験を含めた各Brandのスキル要件対象にアップデートしました。

2009年2月25日更新

System zのスキル要件対象試験として、セールス向け(427日本語)、テクニカル向け(428日本語)が追加になりました。
本日以降、427/428試験合格者も、System zスキル要件としてカウントされます。

2008年11月10日更新

IBM Power pのテクニカル試験(#330)が利用可能になりました。11月7日より予約開始、11月12日より受験開始です。

2008年10月22日更新

IBM Power iのテクニカル試験(#974)が利用可能になりました。10月20日より予約開始、10月24日より受験開始です。

2008年7月23日更新

System Storageのテクニカル試験#208が日本語で利用可能になりました。
これまでの試験に加え、#208の合格者もStorageのテクニカルとしてスキル要件にカウントすることができます。
既存の他試験合格者の受けなおしは必要ありません。

2008年7月17日更新

IBM Powerのi/pについてのセールス試験(#973/#331)が利用可能となりました。7月15日より予約開始、7月18日より受験開始です。

2008年7月1日更新

海外拠点を持つパートナー様へのご案内は、各国のIBMとの間でスキル要件を満たす必要がありましたが、本日以降、海外展開の同一企業グループに限ってテクニカル/セールスの要員をいずれかの国に集約させることが可能となります。

2008年4月23日更新

IBM Powerの発表により、System iおよびSystem pのスキル要件が変更になります。今後リリースされてくる新試験を再受験し、2009年8月31日までにPPSに登録されることが要件です。現在の要件は、2009年9月以降は無効となります。

2008年スキル要件発表にあわせ、当Webページを一新しました。

英語でのみ受験可能な試験/資格も追加で掲載しました。英語版での合格も、スキル要件としては有効です。

PPSに掲載される取得済み資格一覧は、テスト番号ではなく資格番号と資格名称で表示されています。

下記要件一覧ではテスト番号/資格番号(pwCert#)/資格名称を記載しました。

2007年12月5日更新

System pのセールス#228、System Storageのテクニカル#749が日本語としてリリースされました。

2007年6月6日更新

System zのスキル要件を追加しました。

2007年5月21日更新

2007年に追加される新試験は「日本語版発表から1年以内に取得しなければならない」という条件を外しました。特に指示のない試験については、現行試験合格者と同列に扱われます。(新試験発表に伴い、旧試験の受験そのものはできなくなります)

System iのテクニカル#868の取得期限は1年以内、という記述についても削除しました。

日本語受験可能な試験として、System xのセールスに#076を、System Storageのテクニカルに#745/#746/#747を追加しました。

System Storageの#740(IBM Certified Specialist - Storage Networking Solutions Version 1)は翻訳作業を行いません。

Version 2である#745が翻訳完了となっていますので日本語試験をご希望の場合は#745をご受験ください。

#740(英語版)合格者も、Storageテクニカルとしてカウントされます。

なお、100%の資本関係のある親会社・子会社のどちらかが、IBMビジネス・パートナー契約を締結されている場合、スキル要件対応として、実際の出向があるなしに関わらずPPS上での会社間の社員移動を認めます。

ただし、同じ社員を両方の会社プロフィールに重複して登録することはできません。